

令和8年調査
酒類業実態調査表D①

調査対象期間
事業年度 (個人は令和7年分)

氏 名 又 は 名 称

個別項目 (清酒)

1 清酒製造業に係る以下の項目を記入してください。

損 益 計 算 書 (千円)					清 酒 の 生 産 費 等 製 造 原 価 (千円)					清酒製造業の従業員数 (人)					
課税売上高	211				原材料費	米代	220				製造部門	223			
未納税売上高	212					原料米代	引取諸掛	221				詰口部門	224		
その他	213					その他		222				その他	225		
計	214				課 税 移 出 数 量 (リットル)					計	226				
課税売上原価	215				移出地域	自 県 分	228				季節労働者	227			
未納税売上原価	216					自県以外の自局分	229								
その他	217					他 局 分	230								
計	218				計					231					
販売費及び一般管理費	219														

2 未納税移出数量及び未納税取引先数については、桶売り・桶買い等の取引の数量及び取引先数を記入してください。

区 分	実 数 量 (リットル)					取 引 先 数 (者)				
未納税移出	232					234				
未納税移入	233					235				

3 清酒製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏

210	
-----	--

令和8年調査
酒類業実態調査表E①

調査対象期間
事業年度 (個人は令和7年分)

氏名又は名称

個別項目 (単式蒸留焼酎)

1 単式蒸留焼酎製造業に係る以下の項目を記入してください。

損益計算書 (千円)					単式蒸留焼酎の生産費等製造原価 (千円)					単式蒸留焼酎製造業の従業員数 (人)					
課税売上高	307				原材料費	主原料代 (米、芋及び黒糖代等)	316				製造部門	320			
未納税売上高	308					その他	317				詰口部門	321			
その他	309				焼酎粕の処理費					その他	322				
計	310				総額 (千円)	318				計	323				
課税売上原価	311				トン当たりの処理単価 (円)					319					
未納税売上原価	312														
その他	313														
計	314														
販売費及び一般管理費	315														

2 自社間の移出入を除く未納税移出入数量及び取引先数について記入してください。

区分	数量 (25度換算) (リットル)	取引先数 (者)
未納税移出	324	326
未納税移入	325	327

3 自社間の移出入を除く未納税移出入の状況を製造場ごとに原材料別の数量を上位5場について記入してください。

328	移出先製造場名	329	原材料別	330	未納税移出数量 (25度換算) (リットル)	331	単価 (円)	332	移入元製造場名	333	原材料別	334	未納税移入数量 (25度換算) (リットル)	335	単価 (円)

4 単式蒸留焼酎製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏

306	
-----	--

令和8年調査
酒類業実態調査表E②

調査対象期間
暦年 (令和7年1月1日から 令和7年12月31日)

氏名又は名称	調査対象期間（調査期間が暦年以外の場合）
	自 年 月 日 至 令和7年 月 日

個別項目（単式蒸留焼酎）

5 原材料別に記入してください。

暦年で記入できない場合は、事業年度で記入していただいても差し支えありません。その場合、具体的な期間を右上の「調査対象期間」欄に記入してください。

原材料別	301 製成数量 (リットル) (25度換算)	302 売上数量 (リットル) (国内取引)	303 売上金額 (千円) (国内取引)(税抜)	304 輸出数量 (リットル)	305 輸出金額 (千円)
芋焼酎					
米焼酎					
麦焼酎					
そば焼酎					
黒糖焼酎					
かす取り焼酎					
泡盛					
その他の単式蒸留焼酎					
焼酎乙類甲類混和					
合計					

令和8年調査
酒類業実態調査表G

調査対象期間
事業年度 (個人は令和7年分)

氏名又は名称

個別項目 (果実酒)

個別項目 (調査表G及びH①～H④)は、果実酒のうち、ぶどうを原料としたものについて記入してください。

※ 果実酒のうち、ぶどう以外の果実のみを用いたもの (例えば、りんごを100%使用したシードル) は、調査対象に含まれません。

日本ワインとは、「果実酒等の製法品質表示基準」に規定する、原料の果実として国内で収穫されたぶどうのみを使用し、国内で製造された果実酒をいいます。

1 日本ワイン及び日本ワイン以外のものに係る、令和8年1月1日の直前に終了した事業年度 (個人は令和7年分) における確定した決算の額を記入してください。

売上原価	501	千円
内 原料費	502	千円
販売費及び一般管理費	503	千円

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの販売数量について容量別に記入してください (調査対象期間は上記1と同様です)。

容量別	販売数量 (リットル)
375ml	504
720ml	505
750ml	506
1.8L	507
その他	508

令和8年調査
酒類業実態調査表H①

調査対象期間
令和7年4月1日から 令和8年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

1 外国産ワインの輸入数量

原料用 (リットル)	販売用 (そのまま販売容器に充填して 移出するために輸入したワイン) (リットル)
509	510

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの課税移出数量及び未納税移出数量

区分	数量 (リットル)		
	合計		内 日本ワイン
課税移出数量	511		512
未納税移出数量	513		514

令和8年調査
酒類業実態調査表H②

調査対象期間
令和7年4月1日から 令和8年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

3 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの自社製造状況

※ この表には、令和7年4月1日から令和8年3月31日の間、①自社において生ぶどう等を発酵させて最初に製成した日本ワインの数量及び②自社において原料を発酵させて最初に製成した日本ワイン以外のものの数量を記入してください。

区分	① 日本ワイン										② 日本ワイン以外のもの									
	数量										数量									
	赤ワイン		白ワイン		スパークリングワイン		ロゼワイン		合計 (その他のワインも含む。)		合計									
製成数量	515	(リットル)	516	(リットル)	517	(リットル)	518	(リットル)	519	(リットル)	524	(リットル)								
使用原料	国産	生ぶどう	/							520	(キログラム)	525	(キログラム)							
		ぶどう果汁								521	(リットル)	526	(リットル)							
		その他								522	(キログラム)	527	(キログラム)							
		糖度20度換算								523	(キログラム)	528	(キログラム)							
	輸入	濃縮果汁								/							529	(リットル)		
		糖度20度換算															530	(キログラム)		
		生ぶどう															531	(キログラム)		
		その他															532	(キログラム)		
	糖度20度換算	533															(キログラム)			

輸出に関するアンケート表 I

氏 名 又 は 名 称

※ 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造者等のアンケート表に記入してください。

○ 現在、輸出を行っている方（卸売業者等を通じて輸出を行っている方も含みます。）にお尋ねします。

（Q1～7にご回答ください。）

Q1 令和6年から令和7年にかけて、輸出数量が増加した方にお尋ねします。増加した理由として、最も近いものを以下から選択してください。

- 1：すでに取引のある販売先の受注量が増加した
- 2：輸出している国・地域において、新たな販売先を拡大した
- 3：今まで輸出していない国・地域で新たな取引を開始した
- 4：不明

Q2 今後（5年後程度）の輸出数量又は輸出金額の目標として、最も近いものを以下から選択してください。

- 1：拡大（現状より1.2倍程度増加）
- 2：拡大（現状より1.5倍程度増加）
- 3：拡大（現状より2倍程度増加）
- 4：拡大（現状より3倍以上増加）
- 5：現状維持
- 6：縮小
- 7：撤退

Q3 Q2で「1」、「2」、「3」又は「4」を選択した方にお尋ねします。輸出数量等の拡大について、どのような方法をお考えですか。最も近いものを以下から選択してください。

- 1：すでに取引のある販売先での受注量を増加させたい
- 2：輸出している国・地域において、新たな販売先を拡大したい
- 3：今まで輸出していない国・地域で新たな取引を開始したい

「3」を選択した方は、具体的な国名を最大3か国、別紙7「国一覧」から選択してください。また、その理由を記載してください。

国番号	国名	理由

Q4 Q2で「1」、「2」、「3」又は「4」を選択した方にお尋ねします。輸出数量を増加するための課題は何ですか。最も近いものを以下から選択してください。

- 1：現地での知名度向上や需要拡大
- 2：現地の市場動向などの情報収集
- 3：代理店・パートナー探し
- 4：海外営業のための経費負担
- 5：人材の確保
- 6：資金の確保
- 7：製造規模
- 8：その他

	（8：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。）
--	---------------------------------

輸出に関するアンケート表J

氏 名 又 は 名 称

※ 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造者等の

Q 5 酒類製造者の方のみにお尋ねします。輸出の取引形態について、主なものを以下から選択してください。

- 1：自社から円建てにより国内の卸・商社へ出荷 2：自社から外貨建てにより国内の卸・商社へ出荷
3：自社から円建てにより現地輸入業者・小売へ出荷 4：自社から外貨建てにより現地輸入業者・小売へ出荷

Q 6 酒類製造者の方のみにお尋ねします。海外における販促活動の方法は次のうちどれですか。

最も近いものを以下から選択してください。

- 1：卸・商社に任せている 2：卸・商社と一緒に海外に行って実施している
3：自社で海外へ行って実施している 4：販促活動は行っていない

Q 7 今後の輸出拡大に向けて、政府に期待する取組・施策があれば、ご自由に記入してください。

○ **現在、輸出を行っていない方（過去に輸出を行ったことがある方を含みます。）**にお尋ねします。

（Q 8～10にご回答ください。）

Q 8 今後、輸出を検討していますか。

- 1：1年以内に開始（再開）予定 2：将来的には開始（再開）することを検討中 3：今後も行わない

Q 9 Q 8で「1」又は「2」を選択した方にお尋ねします。今後、輸出を検討している国はどこですか。

最大3か国まで選択してください。

国番号	国名

Q10 Q 8で「3」を選択した方にお尋ねします。その理由について、最も近いものを以下から選択してください。

- 1：人手が足りない 2：資金がない 3：輸出に関する知識がない
4：将来的にも国内販売で経営が成り立つ 5：その他

	（5：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。）
--	---------------------------------

酒類行政に関するアンケート表K

氏 名 又 は 名 称

Q1 (酒類製造者の方のみご回答ください。)「有機加工食品の日本農林規格」(令和4年9月1日財務省・農林水産省告示第18号)に基づき「有機」又は「オーガニック」の表示に併せて有機JASマークを貼付して移出した酒類及び令和7年9月30日までに「酒類における有機の表示基準」(平成12年12月国税庁告示第7号)に基づき「有機」又は「オーガニック」の表示を行い移出した酒類の合計数量を記入してください(対象期間は暦年です。)

品 目	有 機 酒 類 の 状 況 (リットル)									
	輸 出 免 税 数 量					課 税 移 出 数 量				
清 酒										
合 成 清 酒										
連続式蒸留焼酎										
単式蒸留焼酎										
み り ん										
ビ ー ル										
果 実 酒										
甘味果実酒										
ウイスキー										
ブランデー										
原料用アルコール										
発 泡 酒										
その他の醸造酒										
スピリッツ										
リキュール										
粉 末 酒										
雑 酒										
合 計										

Q2 酒類行政に関する御意見等があれば記入してください。